



R3. 10. 1 発行

爽やかな秋晴れが続いています。歩いたり、走ったりすることが大好きな子どもたちにぴったりの、気持ちよい季節となりました。

暑さが和らいできたので、保育者と友だちと手を繋いで、戸外へ出かける機会を多く設けるようにしました。以前は、散歩カーに乗って散歩へ行っていましたが、今では友だちと手を繋いで、園の周りや線路沿い、本園まで30分ほど歩くことが出来ています。また、室内では、「めざまし体操」や「わーお」など子どもたちの大好きな音楽を流すと、保育者の動きを見て、真似して体を動かそうとしている子や、興味はあるけど遠くから様子を見ている子、気に入っている振りをやっている子など、子どもたちなりに表現することを楽しんでいる姿が見られるようになってきています。

また、子どもたちはズボンの着脱を頑張っています。着替えやトイレの際、最初は保育者がズボンを脱がせていましたが、少しだけズボンを脱がせ、あとは自分でおろしてみようように伝えると、自分でおろそうするようになってきました。その後、ズボンに足を通してあげ、ズボンを引っ張るように繰り返し伝えていくと、自分でズボンをはくことが出来るようになった子や、足を同じ穴に入れてしまう子、ズボンを引っ張ることが出来るようになった子など、子どもたちによってさまざまな姿がみられています。ズボンが引っ張られても、お尻部分が出てしまっているため、その際はさりげなく保育者がズボンの後ろを引っ張ってあげるようにしています。大人が全てやってしまうのではなく、子どもたちの”やりたい”という意欲を大切に、さりげなく手伝いながら、自分で出来たという気持ちを育てていきたいと思っています。



☆ 今月のねらい ☆

- ・秋の自然に触れながら、保育者や友だちと戸外を歩く。
- ・食具を使って食べようとする。

☆ 活動内容 ☆

- ・散歩（園の周り、線路沿い、徳石通り南広場など）
- ・本園交流 ・製作 ・巧技台 ・体操 など

☆ 食具について ☆

丸柄の食具を使って給食を食べている子どもたち。手づかみで食べる子もいますが、以前に比べると、手首の返しが上手くなってきて、お皿に手を添えるように繰り返し伝えていくと、食べこぼしが減ってきています。

子どもたちの様子に応じて、丸柄の食具から長柄の食具に移行を始めています！

